

授業科目	＊ 専門演習Ⅱ（劉）					単位	2		
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	TO31805J		
開講年次	3 年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2				
担当教員	劉 明								
授業概要	基礎知識を身につけ、社会的関心を広げる目的の文献による学習をすると同時に、国際観光文化交流の現場（日本国内あるいは中国）に出かけ、観光文化を観察・考察することを学ぶ。								
学生が達成すべき行動目標	「専門演習1」での学習を発展させ、学生各自が問題意識や研究テーマをできるだけ明確にしながら、その内容についての発表・討論をすることができる。さらに4年次の「卒業研究」を念頭に置きながら研究計画を立案できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	0	25	25	25	25	100		
知識・理解（DP1-1）			12				12		
知識・理解（DP1-2）				12			12		
知識・理解（DP1-3）					12		12		
知識・理解（DP1-4）									
思考・判断（DP2-1）			13				13		
思考・判断（DP2-2）									
関心・意欲（DP3-1）					13		13		
関心・意欲（DP3-2）									
態度（DP4-1）				13			13		
態度（DP4-2）									
態度（DP4-3）									
技能・表現（DP5-1）					13		13		
技能・表現（DP5-2）						12	12		
技能・表現（DP5-3）									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
論文作成の基本マナーを体得しており、4年次の「卒業研究」にスムーズに進むことができる。				論理的に筋道立てて考え、自分の言葉で分かりやすく口頭および論文で述べる能力を習得できている。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	1～30回のすべてのテーマ・講義内容については、第1回目の授業で担当者によって説明されます。学科								

	共通研究行事として、キャリアをテーマにした授業があります。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	2 年次までの演習・研究科目についての理解が、きちんとなされていること。			
テキスト	担当者により、説明がされます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	1. 知へのステップ 2. よくわかる卒論の書き方 3. 図書館の朝日新聞のデータベース / JapanKnowledge / ブリタニカオンラインジャパン (学内のみで閲覧可) 4. 担当者により説明されます			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃から新聞雑誌等を読み、テレビ・ラジオ、ネットでのニュースに関心をもっていることが大事です。知識の枠組みを広げることが基本です。			
達成度評価に関するコメント	4 年次には、無理なく卒業研究に取り掛かることができるように、卒業論文作成のマナーの基本を体得しているようにしましょう。			